

学校だより 9月号

こあゆ

◆厚木市立小鮎小学校 ◆児童数492名 ◆学校長 土屋健司 ◆平成26年9月26日発行

意欲的に学び、たくましく 思いやりのある鮎っ子

～しっかりべんきょう げんきで やさしく～

- 根気強く考える
- 明るく元気な子
- 豊かな心思いやりのある子



2学期のスタート

校長 土屋 健司

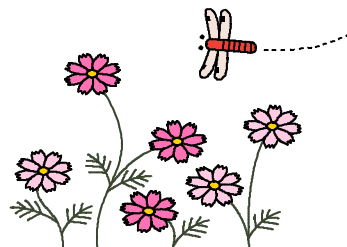
朝夕は、ずいぶんしのぎやすく秋の訪れを感じさせてくれます。40日以上暑い長い夏休みが終わり、子どもたちがそれぞれの思い出をいっぱいカバンに詰めて、いよいよ2学期が始まりました。

夏休み中、8月1日付け緊急のメール「交通事故にご注意ください」でお知らせしました通り、本校児童の交通事故が発生しました。自転車走行中の大型トラックによる右折巻き込み事故でした。ヘルメットをかぶって自転車に乗って、まるやま公園横の道路を台の上方面に直進していたところ、左手後方から自転車の進路を遮るように右折してきた大型トラックにはねられてしまいました。左足を負傷し入院加療しました。児童は交通ルールをきちんと守っていたにも関わらず大きな事故になってしまいました。(現在は元気に登校しています。)

事故は、いつ起こるか分かりません。学校では、1日の始業式当日、再度「右左右を十分確認してから横断すること。自転車ヘルメットを必ずかぶること。交差点では内輪差に注意して下がって待つこと。」を指導しました。ご家庭でも指導の徹底をお願いいたします。

始業式では、「勉強のこと、友達のこと、それ以外のことでよいので、わからないこと、困ったこと、うれしかったことも、何でも先生に話を聞いてもらってください。」と話をしました。子どもたちには話をしたいことがいっぱいあります。学校の先生もしっかり聞いていこうと確認し合いました。子どもは話を聞いてくれることで、安心します。周りの大人が、子どもの声に耳を傾けること。ご家庭でもよろしくをお願いいたします。

2学期、学校では、特に正しい「言葉づかい」を重点に指導していきます。言葉は人を勇気づけてもくれるし、嫌な思いにもさせます。言葉で人にいい思いをしてもらいたいものです。七沢自然教室・遠足・日光修学旅行・鮎っ子集会・PTAふれあいパークなどたくさんの行事があります。自分の良さを伸ばし、友達との絆を深められるよう工夫していきたいと思います。また、学力向上や読書にも力を入れていきたいと思います。引き続き本校の教育活動に対して、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。



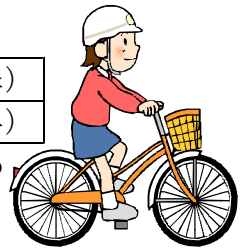
防犯ブザー携帯及びヘルメット着用状況調査

調査日 9月12日(木)

防犯ブザー携帯率	93.6% (7月同調査より0.9%下降)
ヘルメット着用率	96.0% (7月同調査より0.9%上昇)

ヘルメットは厚木市では保護者の着用義務です。命を守るための所持・着用をよろしくお願いします。

防犯ブザーが壊れた場合は、分解して学校に持って来ていただくと新しい防犯ブザーと交換をいたします。



2学期の主な予定

9月

- 29日(月) 4, 5年 七沢自然教室
- 30日(火) 4, 5年 七沢自然教室

- 21日(火) 鑑賞教室
- 22日(水) 授業参観・懇談会
- 24日(金) 鮎っ子集会
学校評議員会

10月

- 8日(水) 6年 修学旅行
- 9日(木) 6年 修学旅行
- 16日(木)～22日(水)
学校へ行こう週間
- 16日(木) 5年 校外学習
- 17日(金) 2年 校外学習

11月

- 6日(木)～12日(水)
教育相談
- 8日(土) PTAふれ愛パーク

※ 学校へ行こう週間

神奈川県では、10月に「学校へ行こう週間」を設けています。これは、地域に開かれた学校をめざし、広く学校を公開するものです。本校でも、学校の教育活動をご覧いただき、保護者と地域の皆様の声を生かしてよりよい学校づくりに取り組んでいきたいと考えております。

来校される方は、職員玄関で来校者名簿に記入を済ませてから、参観を始めてください。

3校合同児童・生徒引き渡し訓練を実施して

昨年に引き続き、3校合同児童・生徒引き渡し訓練を実施しました。保護者の皆様には当日の引き渡し、またアンケートの記入等ご協力をいただきありがとうございました。【回収数 226】

いただいたご意見について、以下のように考えておりますのでお知らせします。

(1) 引き渡し方法はよかったですか

よい 90.3% よくない 7.5% 無回答 2.2%

- ・スムーズにできた。
- ・いつ起きてもおかしくないといわれる中、今回の訓練は非常に良かった。実際はパニック状態の現場になると思うが、訓練していればきっと生かせると思う。
- ・訓練してみて実際に地震が起こった場合のことを再度考える良い機会となった。
- ・実際のことを考えマイクなしで話したのかもしれないが、親には何も聞こえなかったでは。一度マイクなどで親も含めてから話をしてほしい。
- ・何人もの子どもがいる場合は、並ぶのが大変なので、兄弟が同じ所にいさせてほしい。
- ・引き渡しまでの時間が長いと感じた。

90%の方からよいという評価をいただきました。東日本大震災から3年が過ぎ、地震への意識が次第に薄れつつあります。地震はいつ起こってもおかしくないと言われていています。この気持ちを大切にしてください。これからも取り組んでいきたいと考えます。マイクの使用、子どもが何人もいる場合の引き渡し方については、検討していきたいと思っております。

(2) 帰宅途中に危険だと思われるところはありませんでしたか。

ある 16.4% ない 80.1% 無回答 3.5%

徒歩で通学路を歩いていただくことで、危険箇所を把握することができたよ

うです。危険回避の方法や迂回路について、日頃から家庭でも話し合ってもらえればと思います。学校も危険箇所の把握に努めてまいります。

(3) その他

① 車での来校について

平常時においても車での来校はご遠慮いただいております。正門付近での車の出入りによる危険防止と、近隣の方への迷惑を考えてです。災害時には、平常時以上に同様のことが言えますし、災害対策基本法により、災害発生時には緊急通行車両以外の車両は制限されたり通行が禁止されたりします。職場からの状況等もあるかとは思いますが、ご自宅に置いてくるなどして、ぜひ徒歩で来ていただき、実際に地震が起きたらどうなるのか、家族で考えて行動していただけたらと思います。

② メール配信について

児童への指示・情報収集等が優先されるため、地震発生後即時にメールを流すことは困難です。また、大地震の際には、使用できないことも考えられます。防災無線・テレビ・ラジオ等で情報を収集し、市内小学校については震度5弱以上（中学校は震度5強以上）でできるだけ速やかに引き取りをしていただくことになっていきます。訓練の際も実際に想定して行動していただくようお願いいたします。

③ 災害用備蓄品について

厚木市では、児童・生徒用として各小中学校に災害用備蓄品として飲料水、保存用ビスケット、災害用救助用毛布を配備しています。

小鮎小学校にある災害用備蓄品の数量は、次の通りです。

飲料水	2L×87ケース(6本入り)=522本
保存用ビスケット	80袋(1袋 5枚 75g)×2缶=160袋
災害救助用毛布	10枚×3箱=30枚

大事な命を守るために訓練と言えども、危機意識を持って取り組みましょう。



